

事例

1. 違法ドラッグの引用により意識がなくなり、呼吸が停止してしまいました。
2. 視覚過敏（直線や曲線の輪郭を見ると心にじんじんとしみる）、聴覚過敏（聞こえる音がぼんぼん耳にひびく）などの症状が現れました。
3. 違法ドラッグ服用後、精神運動興奮（物を投げる、大声で叫ぶ）、見当識障害（場所日付判らず）になってしまいました。
4. 違法ドラッグの摂取により、精神運動興奮に陥り、転落死してしまいました。



違法ドラッグは、買わない、使わない、かかわらない！

違法ドラッグの被害

転落死 呼吸停止 意識消失 急性中毒 急性錯乱 後遺症 幻覚 幻聴 妄想 視覚過敏 聴覚過敏 精神運動興奮

薬物乱用は脳を破壊する！

わたしたちの脳は、20歳まで成長するといわれています。とくに、小学校、中学校、高等学校では、立派な社会人となるように心身ともに発達するときです。この時期に薬物を乱用すると、脳や身体の成長がストップし、心身の発達がそこなわれ、健康な社会人となることが出来なくなります。薬物は一回でも使うと乱用になります。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

興奮作用

覚せい剤



MDMA



コカイン

違法ドラッグ

(いわゆる脱法ドラッグ)



幻覚作用

LSD(紙状)



マジックマッシュルーム(きのこ)

有機溶剤

(シンナー・トルエン・接着剤など)



大麻(マリファナ)



向精神薬 (睡眠剤・抗不安剤など)

(注)医師の診断のもと、適正に使用されているものを除く。



大麻樹脂

あへん系麻薬
(ヘロインなど)



ヘロイン

抑制作用